

キャリアチャレンジII期
首都圏の生活クラブ生協を通して協同組合の実践を学ぶ

法政大学 人間環境学部 人間環境学科 延吉豊誠



本日の発表の流れ

- 導入部分～私と生活クラブ～
- 生活クラブとは「何か」を考える①
- 生活クラブとは「何か」を考える②
- 私が関心をもっている社会問題
- 「主体性」と生活クラブの実践
- 「主体性」における生活クラブと若年者層の関わり①
- 「主体性」における生活クラブと若年者層の関わり②
- おわりに

導入部分～私と生活クラブ～

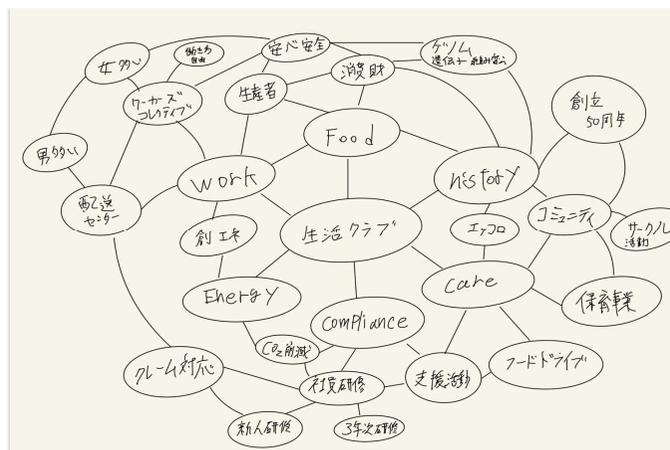
生活クラブの研修を受ける中で、自宅の冷蔵庫に、生活クラブの消費材を発見！

実は、母が組合員でした！



生活クラブとは「何か」を考える①

私が研修で学んだことを、とにかく書き込んでみました!!



「主体性」における生活クラブと若年者層の関わり②

若者に「主体性」を持てる場を提供しながら、生活クラブのブランド力も上げることで、双方にとって有効な関係が築ける！



また、障害者支援、子育て支援の枠を飛び越えて、求職者雇用支援などから、「主体性」を持てる場を提供していこう！



おわりに

生活クラブ関係者のみなさま

お忙しい中、私たち学生のために貴重な時間を作っていただきありがとうございます。お忙しい中、私たち学生のために貴重な時間を作っていただきありがとうございました。

生活クラブの研修においては、普段の学生生活で体験することのない経験をさせていただきました。そして、私自身、生活する中で生活クラブを意識することができ、母が組合員であることも知ることができました。

心残りといえば、農業体験をして見たかったこと、

生活クラブのトラックに乗って見たかったことです。笑

これは、コロナ禍という状況では、仕方のないことですが、画面越しからでも、みなさまのエネルギーを十分に感じることができました。

短い期間でしたがありがとうございました。

今後も自宅に消費材が届くことを楽しみに待っています。

キャリアチャレンジ

生活クラブ東京 3年 村上公規

目次

- ・なぜ、あなたがその「社会の問題」の内容に関心をもったのか？
- ・その「社会の問題」を解決しようとする生活クラブの実践を評価（長所と短所）する
- ・その「社会の問題」を若年者層がどのようにしたら生活クラブをツールとして解決できるか

1. 「社会の問題」

生活クラブでの経験を通して感じた「社会の問題」と選定理由

2. 生活クラブの実践事例(1)～(3)

3. 若年層への取り組み・働きかけ

若者たちに生活クラブを知らせるには？

生活クラブでの経験を通して感じた「社会の問題」

・地域におけるコミュニケーション不足

➡特定のネットワークでの生活
利便性を追及しすぎてしまう

・「食」に対するこだわり不足

➡とにかく安いものを購入する
出所を気にしていない

地域や食に対する興味関心が
薄れてきているのではないか？？

関心を持った理由

～3月4日の『たがやす農作業体験』を通して～

田んぼを全員がそれぞれの場所で生き生きしながら耕していた。
休憩中には集まって楽しそうにお話しをしていた。

～活動全体を通して～

「食」に対するこだわりが少ない(2月27日講義にて)

「誰が作ったかわからないものか分からない」(たがやす・斎藤さん)



生活クラブの実践事例(1)

生活クラブによる宅配

メリット	デメリット
組合員への説明・提案できる	価格が高くなってしまう
会話などのふれあい	家にいない場合や人と関わるのが苦手な組合員がいるかもしれない
組合員にあったサービス	組合員を増やすことが難しい
誰が作ったかが分かる	欲しい時にすぐ手に入らない

⇒どうしても価格が高くなってしまう。

しかし、それ以上のこだわりを示し、納得してもらう必要がある。

生活クラブの実践事例(2)

ユニバーサル就労

メリット	デメリット
やりがいをもった仕事が行える	慣れるのに時間がかかる
働く場所を提供できる	社会での受け入れ場所が少ない
コミュニケーション能力の向上	会話が苦手な方もいる
受け入れ側もやる気のある人を見つけ出すことができる	雇入れる人物を探すのが難しい

⇒近年雇用問題は改善されてきているが、未だ障がい者の受け入れ口は狭い。

生き生きと活躍できる職場づくりは多くの人々を助け、社会をより豊かなものにする。

生活クラブの実践事例(3)

無農薬・低農薬生産

メリット	デメリット
健康に配慮しできる	見た目などによる理解不足
安心感を持って口にできる	生育の管理が大変
環境負荷を低減できる	価格が高くなる
環境や健康に対する人々の意識を高める	チャネルが限定されやすい

⇒形が不揃いであったり、葉が食べられていたりなど見た目を気にする人々に理解されにくい。

一方、長期的に見て安全性が高く、生産者が分かり安心感がある。

若年層への取り組み・働きかけ

地域コミュニケーションの促進
食に対するこだわり



それを達成するには？

若者をはじめとした人々

そのために、
多くの人に生活クラブの
存在を知らせる

生活クラブを利用することで、
達成できる

若者たちに生活クラブを知らせるには？

・デポーを多くの人に使ってもら

➡訪問による販売に加え、店舗型の販売を広める

若者のネットでの買い物や宅配は、商品や料理などすでに完成したものが届けられやすい？

消費者) 具材や材料を店舗で買う人は多い

生活クラブ) 状態や産地などこだわり実際に見せることができる

・農作業体験、デポーでの体験、学校の講義など

学生と生活クラブの接する機会を増やし、その中で興味を持つ学生を増やす

参考文献

・生活クラブホームページ

〈<https://seikatsuclub.coop/>〉 (アクセス日: 2021.4.1)

・コープナビ「ユニバーサル就労」

コロナ禍での 格差・貧困

人間環境学部 3年 中村綾海

関心を持ったきっかけ

コロナによる失業率の上昇（4月8日時点で10万越え）
大卒内定率の下落

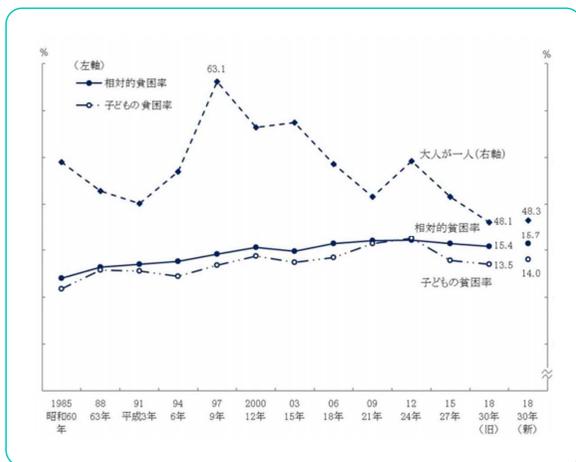
↓
将来への不安



日本の貧困

- 6人に1人相対的貧困（年収200万以下1000万人超え）
- こどもの貧困（7人に1人）
= 非正規労働者の貧困
- ジニ係数の上昇

自助の限界



若者の貧困

- 広義のホームレス（コロナで増加）
→見えづらい
 - 奨学金の返済
 - デジタル格差
 - 地域格差
- ↓
子どもを持つことをあきらめる

女性の貧困

- 勤労世代（20歳から64歳）の一人暮らしの女性の3人に1人が貧困状態
- 非正規の割合
男性：22.3%
女性：56.4%
↓
コロナの影響で雇止め
↓
自殺者増加

生活クラブの実践 たすけあい

共済

エコロ共済

エコロプラス

福祉

保育園
介護

生活困難者
自立支援

フードドライブ

生活クラブの実践 まちづくり

- 居場所アソシエーション基金
→ 居場所づくり
- ワーカーズ・コレクティブ
→ 雇用の創出（特に女性）

生活クラブの実践 FEC+W自給ネットワーク

○ 持続可能な地域社会の実現

消費材の購入により...

グローバルサプライチェーンが引き起こす問題点（森林破壊→気候変動→飢餓問題）を解決

消費行動を見直す

地産地消→国内自給率を高める

生活クラブの実践

短所

消費材は適正な価格＝安いわけではない

But

フードドライブで解決可能

若年層へのアプローチ

- コロナ禍で貧困に苦しむ若者を支援
→生活困窮者支援（就労支援）、フードバンク
- ひとり親世帯への支援
→エッコロ共済、エッコロプラス、子ども食堂

地域コミュニティの形成→たすけあいによる孤立防止

生活クラブから考える社会問題

～地域コミュニティ～

人間環境学部人間環境学科3年 井上咲笑

私に関心をもった社会問題

<健康問題>

- 生活習慣病・・・高血圧、がん、脳卒中、心臓病
- 精神病・・・アルコール依存症、うつ病、睡眠障害
- 健康寿命・・・男性72歳、女性74歳(2016年)
(平均年齢 男性80歳、女性87歳)

健康とは

健康

心

体

人との関係性



なぜ健康に関心を持ったのか



○食生活の悪化



○運動不足



○コロナ鬱



○祖父の末期がん

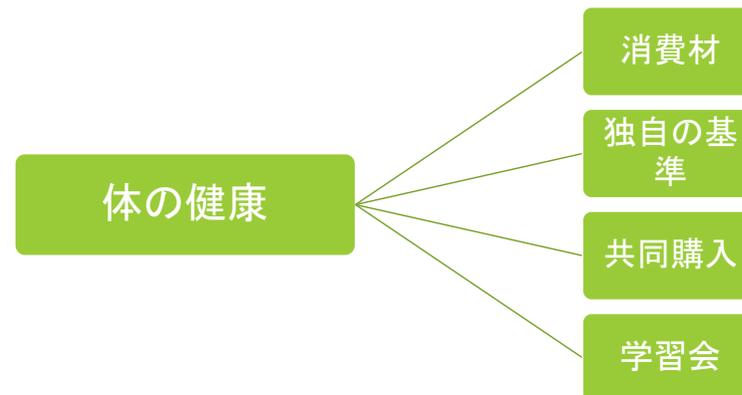
➡ 生活の質 = 健康の状態

生活クラブ神奈川の取り組み①

<活動内容>

1/30	キララ賞授賞式・生産者交流会
2/11	生活クラブ神奈川について・たすけあい、地域づくり
2/16	配送センターについて・W.Co運動について
2/18	ゲノム編集学習会・懇親会
2/24(千葉)	保育・フードドライブについて
2/25	生活クラブの運動と事業について

生活クラブの取り組み②



生活クラブの取り組み③

心の健康

居場所アソシエーション基金

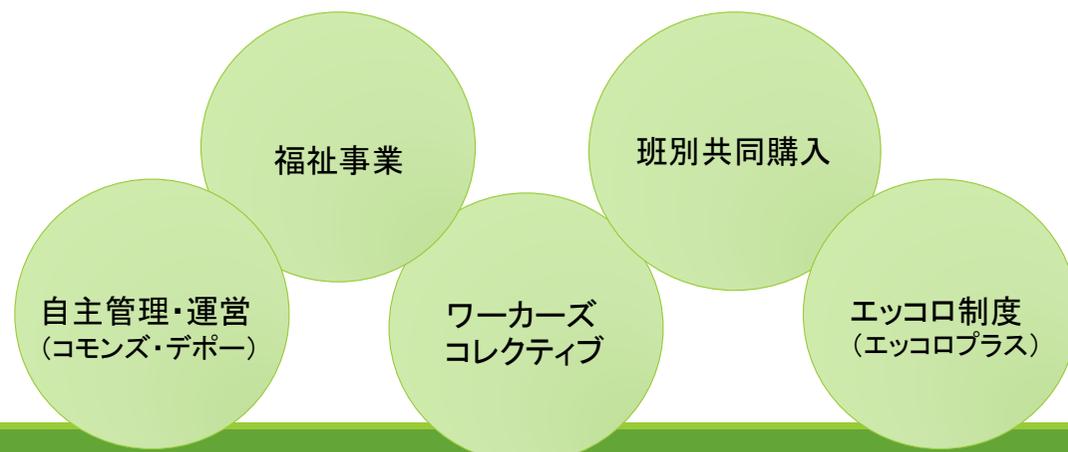
…地域のたすけあいの場づくりの助成金

組合員でなくても
利用できる！

子ども食堂

認知症カフェ

生活クラブの取り組み④



取り組みの評価

◎ 心の健康 + 体の健康 + 人間関係 = 健康

生活クラブ

△ しかし 専業主婦の減少、高齢化によって担い手が不足、知らない人もいる
共働きの女性は参加しにくい、料金がスーパーより高め

若年者層による解決と生活クラブ

組合員でない若者

<生活クラブを知ってもらう>

- イベント、デポ、SNS、人の多いところで宣伝
- 授業をする(職業体験・講義)

<食に対して意識をしてもらう>

- 食に関する知識を得る
- 食品表示を見る

⇒ 将来、組合員になる可能性あり

若年者層による解決と生活クラブ

組合員である若者

<エコロ共済制度に加入する>

- サポーターか利用

<積極的に活動に参加するor広報誌を読む>

- 知識を得る
- 生活クラブについて発信する
- 「生活と自治」で地域のことを知る

⇒ 若者が気軽に参加できるイベントがあれば良いのでは？

参考

- ・ 日本生活習慣病予防協会HP(2021/04/10取得)
一般社団法人 日本生活習慣病予防協会 (seikatsusyukanbyo.com)
- ・ 健康寿命とはどのようなもの？(2021/04/10取得,生命保険文化センター)
健康寿命とはどのようなもの？ | 公益財団法人 生命保険文化センター (jili.or.jp)
- ・ キャリアチャレンジ 生活クラブ神奈川 配付資料

生活クラブが行う小規模保育の可能性

法政大学 人間環境学部 人間環境学科
3年 豊田崇文

はじめに

- ・生活クラブ 虹の街を学習した。
- ・生活クラブでは、保育事業を行っている。
- ・特に小規模保育所という新しい保育所に力を入れている。
- ・小規模保育の理念・方針、4つの特徴を持っている。

問題関心

・現在の日本の待機児童数の増加。

・日本の女性の年齢別の労働力率がM字型であること。

・仕事と育児の両立が難しい。



出典:厚生労働省【公表用】③保育所等関連状況取りまとめ(平成31年4月1日)<本体>(mhlw.go.jp)

問題関心

- ・保育園に入れなかったことにより、育児に専念せざるを得なくなる
- ・保護者の負担が増える
- ・保育園に入りたくても入れない



女性の社会進出の減少

家庭内トラブル・貧困の増加

変えていかなくてはならない社会問題

生活クラブの行う小規模保育はこれらの社会問題をどのように解決できるのか？

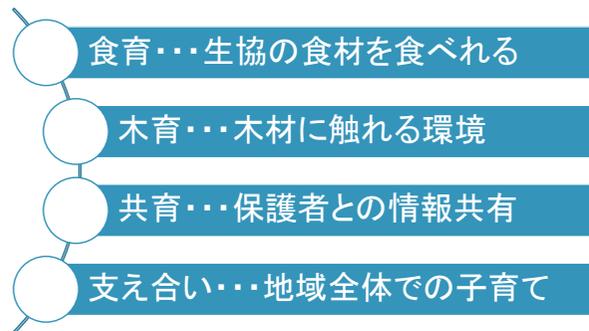
概要②

理念・方針と4つの特徴

・保育理念

・目標とする子どもの姿

・保育方針



概要①

生活クラブ虹の街小規模保育 おおたかの森

- ・H27年子ども子育て支援新制度により、認可施設となった保育所
- ・2018年に設立
- ・0歳～2歳に特化した小規模保育
- ・定員6～19名の保育園
- ・おおたかの森のデポの2階にある

長所

・都市部待機児童数解消の手助けとなる

→1, 2歳の子どもが多い

・教育方針から一人一人に寄り添った保育ができる

→子ども3人につき大人1人が面倒を見る体制、はぐくみ隊、年齢に応じた保育

・様々な事業形態からの移行が可能

→地方単独事業などの様々な事業形態から移行が可能

短所

- ・待機児童が多いからと言ってそう簡単に数を増やせない
→将来的に見て少子化であり、事業的にうまくやっけていけるのか
- ・定員19名を超えてしまう場合がある
→超えたことはないが、そうなっても対応ができない
- ・3歳以降は転園が必須(3歳の壁)
→2歳までの保育のため

考察②

家庭内トラブル・貧困層の脱却

- 働くことや自由な時間を持つことができる。
- 保護者のストレス軽減
- 出産・コロナの情勢を踏まえた収入減少への対策となる。

出産後のより良い暮らしへの充実

考察①

女性の社会進出

- 結婚・出産を機に減少していく女性の労働率を改善できる。
- 0歳から入所できるため、出産後すぐにパートとして働くことが可能であり、女性の社会進出を促すことができる。

M字型の女性の労働率改善への先駆けとなる

考察③

待機児童数の変動

- 待機児童数解消の手助けとなるが、事業的に見て数を簡単に増やすことができない。
- 待機児童数の減少にはなるが、十分な保育を受けられず、理念や方針をないがしろにしてしまう。

一概に解決できない課題となっている

展望

私たち若年層の参加できること

- ・小規模保育園運営や拡大には私たちは携わることが難しい
- 小規模保育を多くの人々に伝える

Ex,

- ・自作の塗り絵を保育園に提供し、デポやスーパーに貼り、多くの人に目にしてもらう
- ・兄弟、姉妹、親戚で結婚した人に勧める
- ・はぐくみ隊として参加する
- ・福祉系大学と提携する

参考文献

- ・【公表用】③保育所等関連状況取りまとめ(平成31年4月1日)＜本体＞ (mhlw.go.jp)
- ・小規模保育おたかの森 (seikatsuclub.coop)
- ・小規模保育事業について (cao.go.jp)

ご清聴ありがとうございました

海外生産地へのケア

キャリアチャレンジ

法政大学人間環境学部人間環境学科2年 栗原 慧

2021年4月11日(日)

目次

1. 輸入先で起きている重大な問題
2. 調査理由
3. 生活クラブの取り組み
4. 私たちができること
5. おわりに

1. 輸入先で起きている重大な問題

1. 輸入先で起きている重大な問題

大量生産

森林伐採による生態系の破壊

農薬や工場排水による水資源の汚染

現地の環境破壊

低賃金雇用や過酷な労働環境による健康被害 } 労働問題

2. 調査理由

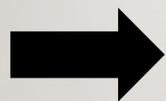
2. 調査理由

たがやすさんの下で農作業体験をさせていただき、生産者に対する意識が強まった

国内の取り組みなどについては、事前学習等によく理解していたが、海外についてはどのようなになっているのか疑問を抱いた

2. 調査理由

持続可能な開発目標SDGs



**誰も（特に弱い立場にある人々）
取り残さない社会を目指す**

自分の生活が他の人の生活に大きな負担をかけている可能性があるということを私たちは念頭に置いて生活しなければならない

3. 生活クラブの取り組み

3. 生活クラブの取り組み

フェアトレード

現在では様々な企業が取り組み始めたことで一般にも知られるようになってきた取引のあり方を先駆けて実施

3. 生活クラブの取り組み

コーヒー豆（パプアニューギニア産）



- ・組合員が直接現地に足を運び、生産者から組合員に消費材が届くまでのプロセスが明確であるかを確認
- ・価格決定方式が農家の方々や地域社会にきちんと還元されているか調査
- ・現地で豆の栽培を請け負っている会社の社長を日本に招き、生活クラブの考え方等を理解してもらう

3. 生活クラブの取り組み

養殖エビ（インドネシア産）



- ・新たな用地開拓などをせず、自然環境下で養殖されたエビを消費材として認定
- ・粗放養殖という養殖方法を導入し、塩害に苦しめられていた現地の農家の雇用を創出

3. 生活クラブの取り組み

生活クラブのフェアトレード

生産者と消費者が相互に十分な利益を享受できる取引



4 2万人を超える組合員 = 安定した需要を創出し産地での持続的生産を促す

3. 生活クラブの取り組み

懸念される点

- ・組合員数の増加が継続し、供給が需要に追い付かなくなってしまう可能性
- ・フェアトレードできている農家とそうでない農家の関係性が悪化してしまう可能性

4. 私たちができること

4. 私たちができること

とにかく現状をより多くの人に知ってもらう

- ・大学などの若い世代の人々が多く集まる場所に専門家の方を招いて講義をしていただく
- ・学生と企業側が連携して研究発表等を試みる
- ・テレビ番組の放映や動画配信など、マスメディアの力を有効活用する

5. おわりに

5. おわりに

主体的に意見を発信する場
交流会という社会のリアルな現場の体験
農作業体験という生産者本人との直接的な交流

といったような貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

参照

生活クラブ公式HP

[生活クラブ連合会 | 生協の食材宅配 生活クラブ
生協 \(seikatsuclub.coop\)](#)

使用イラスト

いらすとや (<https://www.irasutoya.com/>)

ご清聴ありがとうございました。